

第77期 中間ビジネスレポート

2020年4月1日～2020年9月30日



東亜ディーケーケー 株式会社

証券コード：6848

ごあいさつ



平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、2020年度（第77期）上半期における当社グループの事業の概況等をご報告申し上げます。

2020年12月

代表取締役社長 高橋俊夫

当上半期におけるわが国経済および世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大により、経済活動が停滞し、減速を余儀なくされました。その後、国内外で段階的な経済活動再開の動きもみられるものの、依然不透明な状況が続いております。当社においてもコロナ禍の影響を受け、設備投資を控える動きが継続するなど厳しい状況となりました。

そのような事業環境のもと、当社グループの計測機器が、水道、電力、医療など、ライフラインに関わる施設で重要な役割を果たしていることから、当社グループは、従業員の安全を確保しつつ、安定的な製品・サービスの提供に努めました。

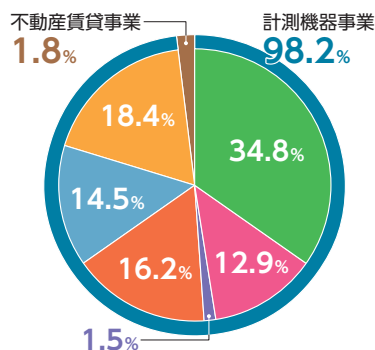
当社は今年10月に合併20周年を迎え、この記念すべき年を「新生TD2020」として、生産技術と開発技術の更なる融合で、世界に選ばれる製品を生み出していく施策を積極的に進めてまいります。

当上半期におきましては、4月1日付で連結子会社のアリス東亜DKK株式会社の吸収合併を含む

組織再編を行い、開発・生産・品質保証部門が一体となった事業運営を推進しました。さらに国内営業では、営業戦略部の新設や営業組織の再編により、マーケットに適応した体制を強化するとともに、新しい営業支援ツールの導入により業務の効率化を図りました。また海外営業では、Web会議やWebセミナー等を活用し、代理店の販売活動を強力に支援しました。特に韓国では、PM2.5測定装置の新たな市場を開拓しました。

以上の結果、当上半期の業績は、売上高は7,085百万円（前年同期比5.3%減）となりました。利益につきましては、原価低減や経費削減に努めたことに加え、コロナ禍に伴う営業活動の制限により経費が抑制されたこともあり、営業利益は619百万円（前年同期比3.1%増）、経常利益は646百万円（前年同期比0.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は438百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

分野別売上高の概況



計測機器事業

6,955 百万円 (前年同期比 5.4%減)

- 環境・プロセス分析機器
- 科学分析機器
- 産業用ガス検知警報器

- 電極・標準液
- 保守・修理
- 部品・その他

不動産賃貸事業

129 百万円 (前年同期比 2.2%減)

東京都新宿区の本社に隣接の賃貸ビル1棟ほかを所有し、不動産賃貸事業を行っております。

環境・プロセス分析機器

2,462 百万円 (前年同期比 6.5%減)

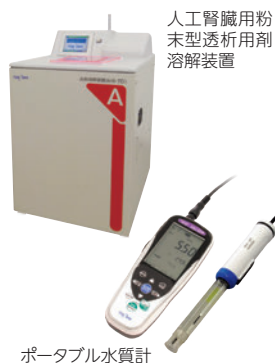


この分野は、基本プロセス計測器、環境用大気測定装置、煙道排ガス用分析計、ボイラー水用分析装置、上下水道用分析計、環境用水質分析計、石油用分析計等であります。

国内において、官公需向けは例年並みの売上高を確保したものの、民間企業向けの基本プロセス分析計や環境用水質分析計の販売が減少しました。一方海外では、経済活動を再開した中国・インド等や、半導体関連設備投資の好調な台湾等での販売が堅調に推移し増収となりました。これらの結果、当分野の売上高は前年同期比6.5%減となりました。

科学分析機器

911 百万円 (前年同期比 9.1%減)



この分野は、ラボ用分析機器、ポータブル分析計、医療関連機器等であります。

ポータブル分析計の売上が、研究機関からの引き合いが弱く、減少しました。また、医療関連機器の主要製品である粉末型透析用剤溶解装置も病院の新規・買い替え需要が減少し減収となりました。これらの結果、当分野の売上高は前年同期比9.1%減となりました。

産業用ガス検知警報器

106 百万円 (前年同期比 28.8%減)

当分野の売上高は、国内外とも販売が減少し、前年同期比28.8%減となりました。



毒性ガス検知警報器

電極・標準液

1,146 百万円 (前年同期比 0.0%減)

保守・修理

1,028 百万円 (前年同期比 6.5%減)

部品・その他

1,301 百万円 (前年同期比 1.4%減)

これらは、環境・プロセス分析機器、科学分析機器の分野における全製品群の補用品類、現地調整・定期点検および修理、補用パーツ等に該当するものであります。

これらアフタービジネス分野につきましては、電極・標準液の売上高は前年同期並みでしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う点検の延期などにより、保守・修理および部品・その他の売上高が減少し、全体では前年同期比2.5%減となりました。



電極

連結業績ハイライト

■ 上半期 ■ 通期

売上高

(単位:百万円)

営業利益

(単位:百万円)

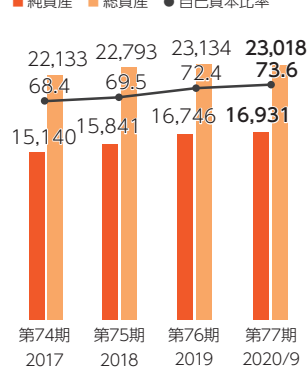
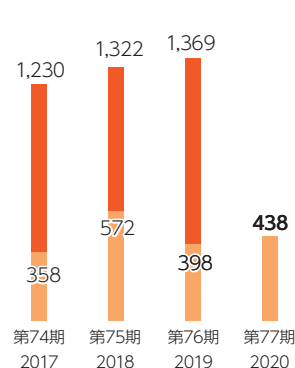
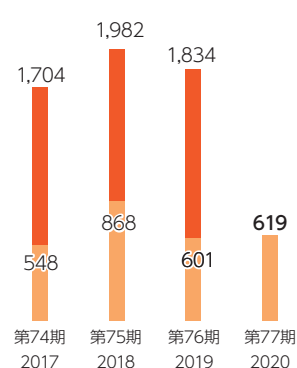
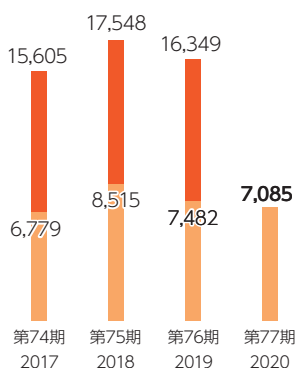
親会社株主に帰属する四半期
(当期) 純利益

(単位:百万円)

純資産／総資産
自己資本比率

(単位:百万円)
(単位:%)

● 純資産 ■ 総資産 ● 自己資本比率



コロナ禍でも営業活動を積極的に推進 ～Webマーケティングの展開～

市場ニーズの変化をタイムリーに事業展開に反映させるため、営業戦略部の新設や新たな営業支援ツール（Salesforce）の導入によりマーケットに適応した体制を強化しました。また、新型コロナウイルスの影響で、企業活動が大幅に制限される中でも、Web会議での商談をはじめ、Webセミナーの開催やWeb広告宣伝などを通じ、国内外での営業活動を積極的に展開しています。そのほか、カタログの拡充、計測機器の取り扱い説明動画の制作、Webサイトのコンテンツ充実化にも注力しました。

今後も新しいビジネス環境に対応した営業スタイルを取り入れて拡販に努めてまいります。



Webセミナー



海外代理店に向けた
オンライン保守研修



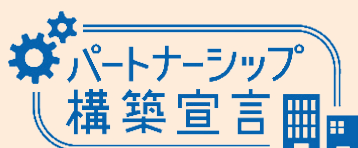
カタログの拡充

お取引先さまとの信頼関係構築 ～パートナーシップ構築宣言～

7月28日に、内閣府および経済産業省などによる「パートナーシップ構築宣言」を公表しました。

パートナーシップ構築宣言とは、サプライチェーン全体の共存共栄と規模、系列などを超えた新たな連携や、サプライチェーンのお取引先の皆さまとの望ましい取引慣行の遵守などを宣言するものです。

これからも当社の資材調達基本方針に則り、公正かつ適正な取引、ESGへの取り組みを推進してまいります。



合併20周年記念 ～抽選式記念株主優待のご案内～

10月1日に合併20周年を迎えました。これを記念し、株主の皆さまの日頃のご支援にお応えするため、現行の株主優待※に加え、抽選式記念株主優待を実施いたします。

※本紙裏面の「株主優待制度のご案内」ご参照

- 対象：2021年3月末現在の株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主さま
- 内容：抽選で100名様に山形県の名産品（カタログギフト）（予定）を進呈
- 応募方法等の詳細は、2021年6月下旬発行のビジネスレポートに同封いたします。



記念株主優待イメージ

国内ネットワーク

▶各営業部・営業所の連絡先は、Webサイトをご覧ください。

東亜DKK 拠点

<https://www.toadkk.co.jp/company/network/index.html>



■ 本社

● 営業拠点

東日本営業部(東京)
札幌営業所
仙台営業所
千葉営業所
神奈川営業所
西日本営業部(大阪)
名古屋営業所
広島営業所
四国営業所
九州営業所
長崎事務所

■ 事業所

狭山テクニカルセンター
開発研究センター
医療関連機器生産棟
東京エンジニアリングセンター

▲ グループ会社

山形東亜 DKK 株式会社
岩手東亜 DKK 株式会社
バイオニクス機器株式会社
東亜 DKK サービス株式会社

/// 会社の概況 (2020年9月30日現在)

商号 東亜ディーケーケー株式会社
英文商号 DKK-TOA CORPORATION
創立 1944年9月19日
資本金 18億4,248万1千円
従業員数 428名(連結662名)
事業内容 ・計測機器(環境・プロセス分析機器、科学分析機器)の製造、販売
 ・医療関連機器の製造、販売
 ・計測機器の部品・消耗品の販売
 ・計測機器のメンテナンス・修理
 ・不動産賃貸事業

/// 役員 (2020年9月30日現在) (※社外)

取締役

代表取締役社長	高橋俊夫
取締役会長	山守康夫
取締役副社長	玉井亨
取締役	伊東哲
取締役	中島信寿
取締役	吉田壽
取締役	東海林正男
取締役	谷山進
取締役	丸貞克
取締役	ヘンリー・シー・チャン
取締役	田中健一郎*
取締役	大野博*

監査役

常勤監査役	初田忠雄*
常勤監査役	魚次泰介
監査役	富山恭道*
監査役	米澤廣行*

/// 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 3月31日
 配当金 3月31日
上場取引所 東京証券取引所 市場第一部
 (証券コード 6848)
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
お問い合わせ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 フリーダイヤル 0120-288-324
 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
 証券会社に口座をお持ちの場合は、お取引の証券会社等になります。
公告方法 電子公告の方法により行います。
 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 公告掲載URL (<https://www.toadkk.co.jp/ir/notification.html>)

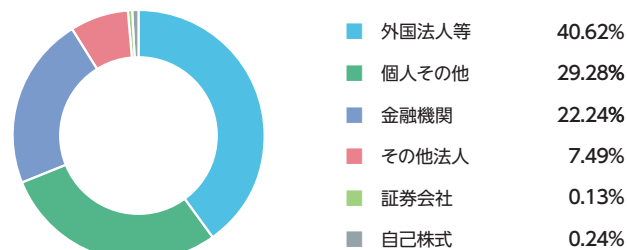
/// 株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数 50,000,000株
発行済株式の総数 19,880,620株
株主数 7,814名
大株主

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
ハック・カンパニー	66,590	33.58
明治安田生命保険相互会社	10,500	5.29
山下直	9,445	4.76
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,259	3.66
光通信株式会社	5,231	2.64
株式会社みずほ銀行	4,625	2.33
損害保険ジャパン株式会社	4,460	2.25
株式会社三菱UFJ銀行	4,192	2.11
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	3,682	1.86
NIPPON ACTIVE VALUE FUND PLC	2,959	1.49

(注) 1. 持株数は、百株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は、自己株式(48,013株)を控除し、小数点以下第三位を四捨五入して計算しております。

所有者別分布状況(発行済株式の総数に対する割合)



株主優待制度のご案内

毎年9月末現在の株主名簿に記載された100株以上をご所有の株主さまに、社会貢献型寄付金付クオ・カードを贈呈しております。クオ・カードをご利用いただくことで、当社から使用額の一部を(公社)国土緑化推進機構が運営する「緑の募金」へ寄付いたします。(株主さまには全額お使いいただけます。)

● 株主ご優待の基準および内容

所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	寄付金付クオ・カード500円分
500株以上1,000株未満	寄付金付クオ・カード1,000円分
1,000株以上	寄付金付クオ・カード2,000円分

● 贈呈時期および方法

年1回、毎年12月に中間ビジネスレポートに同封してご送付いたします。



東亜ディーケーケー 株式会社

<https://www.toadkk.co.jp/>



この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。

用紙は、FSC®森林認証紙を使用しています。インキはVOC(揮発性有機化合物)が1%未満のノンVOCインキを使用しています。

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。